



# 音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之  
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <https://nichionkyou.org> Email [nichion@yomogi.or.jp](mailto:nichion@yomogi.or.jp)

9月15日(日) 出演順(8/31現在)

9月16日(月祝)

## 連合結成30周年

1	オープニング
2	中実委、県実委あいさつ
3	ローカル線
4	中実委企画：若い会員の交流会
5	ふらっと・しゃーぷ
6	阿部尚夫
7	あおさせな&おだかずや
8	Rico & Tatsu
9	ブービーバンド
10	かたくり
11	パールライス
12	たかのすびっき
13	シングルトリオ
14	日音協ソング2018 紹介曲「Yo.2」
15	ノーサイド
16	シングアウト
17	メイウィンズ
18	あんくるん
19	中実委企画：日音協セミナー
20	スポットライト：笠木博逸
21	合唱団ミール
22	林音協
23	日音協長野県支部
24	日音協青森県支部
25	日音協沖縄県支部
26	日音協新潟県支部
27	日音協茨城県支部
28	日音協香川県支部
29	日音協富山県支部
30	県実委企画：日音協秋田県支部

31	ゲスト：BRONZE 道心
32	リバーサイドグラス
33	中実委企画：メーデー合唱団
34	ZENTEI ONKYOU
35	自治労音楽協議会
36	岩手県教職員組合
37	日本私鉄労働組合総連合会
38	スポットライト：キョータ
39	FMカンパニー(日音協北海道支部)
40	日音協東京都支部
41	日音協福島県支部
42	日音協東南北合同
43	日音協岩手県支部
44	日音協東東北合同
45	エンディング



第52回はたらくもの音楽祭  
秋田県実行委員会委員長  
(連合秋田会長) 黒崎 保樹

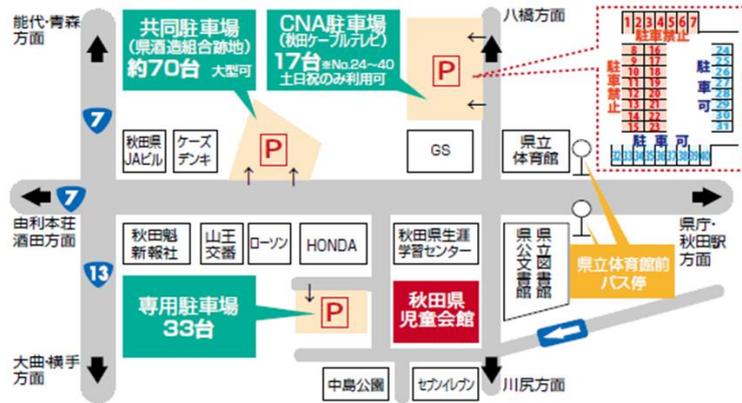
第52回はたらくもの音楽祭が、全国各地より仲間の皆様を『美の国・秋田県』にお迎えし、11年ぶりに開催されますことに秋田県実行委員会を代表し心から歓迎申し上げます。  
あわせて、地域・職場において、音楽を通じて労働者の権利や生活の向上、安心して暮らせる社会の実現を求める活動に取り組まれていることに敬意を表します。

とりわけ、日音協秋田県支部の皆様からは、毎年7月末に地域協議会が主催する『平和の夕べ』において、戦争の悲惨さと平和の尊さを歌い上げていただいております。深く感謝を申し上げます。  
さて、今年も元号が平成から令和となり、連合も結成30周年という大きな節目の時を迎えています。しかし、私たちの暮らしが社会を直視すれば、依然として、貧困と格差が拡大し社会の分断と孤立が進む状況が続き、地域・階層を問わず深刻な将来不安が加速しています。

私たちは、連合結成30周年を契機に、政策面の充実と国民から共感を得られる運動を強化し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、「まもる・つなぐ・創り出す」運動への再構築を図ることとしています。  
これは、「つくり・うたい・ひろめ・つなぎあう」という日音協の四つの活動と合致しています。  
令和という新しい時代で最初の開催となる本音楽祭のテーマは、「つなげ！みんなの想いをひとつのうたにこめて」です。まさに、この間の活動を礎に、新たな次代に日音協の活動を引き継いで行くことを参加者全員で確認する音楽祭になればと願っています。  
結びに、日本音楽協議会が主催するこの発展を祈念するとともに、連合ならびに各地方連合会の運動へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**自家用車でお越しの方へ**  
児童会館指定の駐車場をご利用ください。くれぐれも近所のコンビニなどには駐車しないようにお願いします。

**秋田駅からバスの方へ**  
西口から、15分ほどの「県立体育館前」で下車してください。徒歩2分です。



## 『音楽運動』読者の皆さんへ

『風車の唄』『原発に未来なし』の作者で、日音協50周年コンサートにも演奏していただいた古川豪さんから、関東・東北ツアーのご案内がきておりますので、お知らせします。

日音協の皆様

よろしければ、お越しいただければ幸いです。  
(古川)

## 【古川豪デビュー50周年50ヶ所ツアー】

- 9月28日(土) 埼玉・越谷市「オールドタイム」  
越谷市大沢4-3-14 0489-71-1812  
¥2,000(別途1オーダー) Start 19:00
- 9月29日(日) 国立市 谷保「かけこみ亭」  
国立市富士見台1-7-12 エクシブ12ビル地下  
15:00~ ¥2,500(飲食別途) 共演:館野公一
- 10月2日(日) 高円寺「円盤」 杉並区高円寺南  
五隣館ビル201 03-4291-3555 Start  
20:00 ¥2,000(1D付) OA:小川さくら
- 10月4日(金) 仙台「チャーリーズレモンカントリー」  
青葉区国分町2丁目2-23 レモンシャ  
トービル5F Open19:00 Start20:00  
チャージ¥2,000(学生¥1,000)  
022-225-7569 共演:やぎたこ
- 10月5日(土) 盛岡市「クロスロード」盛岡市南  
大通1-10-8 タマヤパーク2F  
090-3446-3894(清水) Open18:30  
Start 19:00 ¥2,500(ドリンク別途) 共演:や  
ぎたこ・らんぶらあず・カントリーライス
- 10月6日(日) 八戸市「フラット」 八戸市三日  
町27 中央ビルB1F 0178-44-3898  
Open 18:30 Start 19:00 ¥2,500(ドリン  
ク別途) 共演:やぎたこ、ニコニコ、ゆらゆら
- 10月7日(月) 山形最上町「ひやま山荘」最上  
郡最上町富澤834-5 090-6228-0535(押  
切) 遠方から参加の食事、宿泊も可  
・カンパ制 時間は未定 共演:やなぎ
- 10月8日(火) 新潟市「巻鯛車商店街交流会館 囲  
炉裏」新潟市西蒲区巻甲2213(巻信用組合向か  
い) Open18:00 Start19:00 前売り¥1,500  
(当日¥2,000) 090-8773-8767(横山たっ  
つあん) 共演:やなぎ 他 地元新潟の皆さん
- 10月10日(木) 東京・大森「風に吹かれて」大  
田区大森北1丁目34-16 第二みずほビル2F  
03-3763-6555 Open18:30 Start19:3  
0 予約¥2,500 当日¥3,000(飲食別途)  
共演 おとぼけ De プラザース
- 10月11日(金) 茅ヶ崎市「ウィッシュボン」茅  
ヶ崎市中海岸4-1-12 0467-39-5277  
Start 19:00 参加者はご報酬、ご喜捨を。
- 10月12日(土) 東京・御茶ノ水「ウッドスト  
ックカフェ」千代田区神田小川町3-26-24 新  
小川ビル地下1F Tel 03-3233-8015 料金  
¥3,000(1D付) 開場 19:00 開演 19:30

## 【連絡先】

古川豪

〒603-8217 京都市北区紫野上門前町21  
イスズ楽房

TEL&FAX 075-492-1020  
Mob 090-1241-6171  
Email: f.go@titan.ocn.ne.jp

# ゲストはBRONZE道心



2000年、アーティストの「心」が聞き手に伝わる演奏をめざし、リーダーを中心に立ち上げたインストバンド。

2007年地元秋田県で「風の輪ライブ」スタート。

2009年6月プロ活動開始。

2010年、世界最高峰の音楽祭「スイス・モントルージャズフェスティバル」に出演。東北初の快挙を果たす。秋田県イメージアップ貢献者賞受賞。

2011年、被災地復興応援ライブ開始(現在82公演)。箏マイクシステム特許取得。由利本荘市芸術文化協会連合会特別賞受賞。

2015年、ハンガリーヴァーツ音楽祭出演。現在も通常の演奏活動を行いつつ、直向に創作してきた『東北の音』を被災地の方々にお聞かせし、少しでも寄り添うことができたらと復興応援ライブを継続している。

11月にはアメリカでのライブツアーも決定している。

(今回は、2人での構成・演奏となります。)

## 音楽運動編集部からお願い

以前、北海道の笠木さんからメールが届いていました。

>以下概略

皆さんお元気でしょうか？北海道の笠木です。もうすぐ、秋田で音楽祭ですがお会いできるのを楽しみにしています。

今年の1月から取り組みはじめた「歴史」のとりまとめですが、一応整理がつかまりましたのでお知らせいたします。

作成にあたり青森の柿崎さん、私鉄の松野さんには県内組織の祭典メモ等を提供いただき機関紙「音楽運動」だけでは不明だった行動の解明に役立させていただきました。

9月15~16日の秋田祭典に向けて、冊子(紙ベース)で提供できるように努力していますが、手作りのため、かなり時間がかかっています。

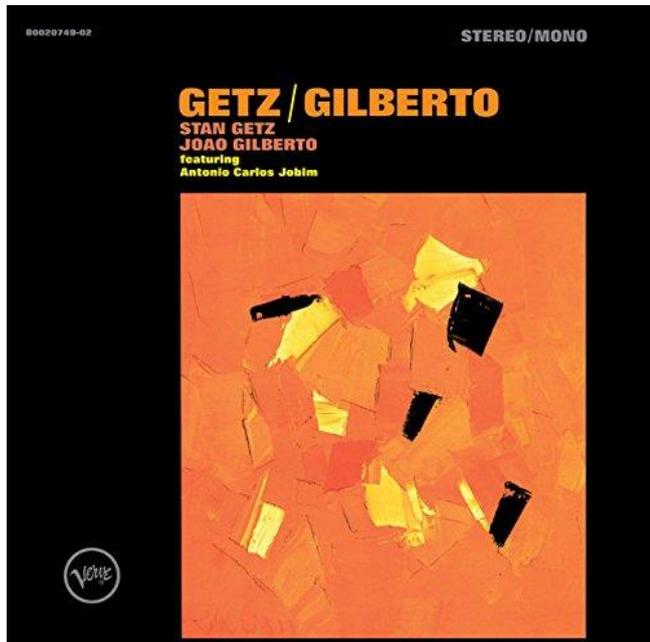
冊子が完成の際は、購入いただければ北海道支部の活動費として役立させていただきますのでよろしくお願いいたします。

■その後、冊子が完成したという連絡があり、秋田音楽祭の会場で販売できることになりました。1,000円ということです。他の支部・個人でも歌集なりCDを持参する方もいると思います。

欲しいけど持って帰るには重いしなあ、という方は事前に心の準備とお金の準備をお願いします。

前号(7月号)で一部掲載してみたのですが、月一のペースだと何年かかるのかなと思っていたところでした。ぜひ、会員・読者のみなさんのご購入をお願いいたします。  
(編集部・佐藤)

# ジョアン・ジルベルト に魅せられて



ジョアン・ジルベルトが7月6日に亡くなった。その後数日は、彼の音楽が FM ラジオから時々流れていた。

私が通勤途上にいつも聞いている朝のFM 番組で、いつもの選曲からすればまず流れてくることはないだろう「イパネマの娘」が流れ、その後のパーソナリティーのコメントで、私は彼が亡くなったことを知った。

私がジョアンの歌と出会ったのは 1984 年、高校を卒業して就職した年の秋だった。以前から気になっていたボサノバに手を出してみようと、帰宅途中レコード店に立ち寄った。MPB(ブラジルのポピュラー音楽)を含め沢山あったレコードを前に立ちすくんだ私は、店員に何を聞けばいいか尋ねた。彼は即座に「これですね」と1枚取り出した。それが「ゲッツ/ジルベルト」(上:レコードジャケット)だった。

先ほどの「イパネマの娘」は、「ゲッツ/ジルベルト」の1曲目。冒頭いきなりジョアンのギターとスキャットから始まり、彼のポルトガル語の甘い歌声と時折さり気なく入る A.C ジョピンのピアノが独特の雰囲気を作っている。1コーラスが終わると、当時彼の妻だったアストロッドが英語で入ってきて、それまでの少しよんだ空気に、スカッと爽やかカカ・コーラのような清涼感を加える。

英語の語感とはまったく違うポルトガル語の音楽を聴いたのはこれが初めてで、私がそれまで聞いてきたものとは全く違う世界に、強く引き込まれた。ジョアンにどっぴりはつからなかったが、それ以降私が聞く音楽が、ブラジルやポルトガルの音楽にまで広がった。

ジョアンの歌声とギターは、私の音楽を広げてくれた。私のような人が全世界に数多くいるはず。

ジョアンに感謝、そして安らかにお眠りください。  
(新潟県支部 山本英二)

## 富山県支部活動報告8月



【6日】高岡市「大仏寺」において被爆者慰霊平和祈念式が行われた。毎年の事であるが、開会前に数曲歌い、お寺さんの読経、献花と焼香、主催者ご挨拶の後、参加者全員で「原爆を許すまじ」を歌った。(上の写真)

【25日】富山アコーディオン研究会は、黒部市国際文化センター「コラール」事務局からの演奏依頼により、チャリティーライブ「24時間ぶつとおしライブ」に出演した。24日からの全国民放31局主

催「愛は地球を救う・24時間テレビ」の趣旨に賛同した企画。実行委員会として1998年から開催し、22回を迎えている。今年のテーマは「ひとりじゃない!」だった。演奏は、「音をひとつに重ねるとき」の時間帯(10時~11時30分)で20分間。合奏曲3曲とアコ独奏1曲を演奏した。聴きに来てくれた友人からは、「こぎりこやアリアの出だしが良かった」「クオリティが高く、それぞれのパートの良さが生かされていた」「会場からも演

奏に合わせて歌声が聞こえた」などの感想があった。因みに依頼のきっかけは、第51回音楽祭の演奏をYouTubeで聴いてということだった。アコーディオン合奏の珍しさもあってか、口コミで広まり演奏依頼が増えて来ている。練習のため集まることも多くなり、少しレパートリーも増やそうと励みになって

(富山アコ・磯野友一)



富山アコーディオン研究会

# 真夏の夜の熱いライブ



## 魂の歌が響きわたる

5年前の北海道祭典のスポットライトで歌った朴保（パクポー）のことは皆さんの記憶にあるだろうか。魂を揺さぶる圧倒的な歌唱力でロックする彼の姿。

その朴保のライブを8月14日札幌の狸小路「琉球処ちゅうらうたや」という沖縄料理店で開催した。主催はFMカンパニー。

毎年8月15日終戦の日に「市民による追悼集会」を開催していて、朴保にはそこで鎮魂の歌を歌ってもらっていた。が、今年はデビュー40周年ということもあり、前日に記念ライブをやるということになった。

会場は定員30人のところに40人を超す超満席。飲み放題ライブとあって開場の6時前から出演者も一緒になって飲み始め、ライブが始まる6時30分には会場はもう宴会の状態になっていた。

朴保は反核、反原発、反体制のメッセージソングを歌い続けている。『♪時代遅れの原発はやめて、もういらぬ、核よさよなら』東日本大震災を経験し反原発を訴え「今こそ流れを変える時」と訴える。

またときにラブソングを歌う。「♪小さい時のお父さんは仁王様のように恐かった。…いつかきっとお父さんのようになりたい。ありがとうお父さん」朴保は在日一世の父と日本人の母の間に生まれている。その父を想い歌った「アボジの歌」を聞き、私は熱いものが流れ落ちるのを抑えきれなかった。丁度お盆ということもあり、5年前に他界した父を思いだしてしまった。

朴保は映画音楽も手掛けている。2002年に公開された日韓合同制作の「夜を賭けて」である。主役は今を時めく山本太郎。その主題歌「いつの日にかきっと」は皆がリクエストにあげている名曲だ。「いつの日にかきっと会える。・・・あなたが生きてると、ただそれだけで、明日という日を忘れない」。

90分のライブは笑いあり、踊りあり大いに盛り上がったが、最後は「イムジン河」を皆で歌い締めくくった。

日本と韓国、そして北朝鮮。苦難を乗り越えて友好の絆を目指したい。

これはまた来年から恒例のお盆ライブになりそうな気配だなあ。（磯野宏之）

# 朴保LIVE2019

だから唄おう あなたの心に届くように

8・14 [Wed] Open 6:00 Start 6:30

at 琉球処ちゅうらうたや

南3西5三条美松ビルB1  
3,000円(飲付)

主催：FMカンパニー  
後援：行動する会



朴保（パクポー）

天性のボーカリスト  
その音楽はロックに収まらず  
幅広く、平和、反核、反原発  
をテーマにライブ活動を行っ  
ている。圧倒的な歌唱力を  
ぜひライブで

申込連絡先 090-1247-4957 (桑野)

デビュー40周年

1979年デビュー以来  
今年で40年。札幌、北海道  
では幾度と歌ってきたが  
記念のライブが実現！



## 追伸

翌日「アジア太平洋戦争犠牲者の市民による追悼の集い」が大通西2丁目であり、朴保は「傷痍軍人の歌」を歌った。（下の写真）

「♪子供のころのお祭りだった。かれらを観たのは、白い着物に松葉杖、アコーデオンの音、傷痍軍人 従軍慰安婦松代大本營。・・・戦争はまだ終わっていないよ」

『魂から出た歌でなければ、人には伝わらない。』彼の歌を聞いていつもこう思う。さあ自分たちもそうありたい。

ちなみに朴保は、その足で韓国の江原道で開催される「平和、響きアリラン世界の祝典」に行くため千歳空港を飛び立った。（磯野宏之）



# 2019NICHIONKYOU北信越ブロック合宿開催



「音楽と私」の風景

8月11日・12日、富山市内において開催した。参加者は、13人+11人ほど

今合宿は、新しい人たちとの出会いに期待して、「人との出会い 歌との出会い あなたと共に」とし、「フリーライブ」と「音楽と私」の内容で企画した。

初めての「フリーライブ」では、合宿参加の日音協メンバーだけでなく、会場の「Artist's」マスターに常連のグループにも声をかけてもらったところ、「高木正樹」と「ほー&力オ」さんが出演してくれた。引き続き



ほー&力オさん

くミュージックパーティーにも参加してくれて交流した。ライブ出演は、10個人・グループ。他に飛び入り・セッションなどで盛り上がった。

2日目の「音楽と私」では、山崎和敏さん(長野)が、ギターを弾くことになったきつかけや、パールライス結成のいきさつ等、創作曲「黄金色の風」の詞が新鮮に感じられた。竹内崇史さん(新潟)は、吹奏楽をやっていた学生時代や市民合唱団で歌っていたこと、青年部の役員をやったこと、仲間に出会ったことなど。

磯野友一(富山)は、音



「Artist's」のマスター



今村さん

楽運動との関りを人や歌との出会いからの46年を想いつくまに、音楽との出会いや想いを語りや歌・演奏で伝えた。

最後の一人一言では、『フリーライブ』について「周りにやっている人はいるんだが・・・『音楽と私』については「自分を振り返るきっかけになった」「その人がわかってよい」、全体的には、「ゆつたりした日程だった」「合宿なら合宿らしく」などの感想が出された。

今回は、労組周りで参加要請を行ったが、新しい人の参加が得られなかった。今後継続し工夫



磯野さん

加藤さん

しながら、いろいろな人たちとの出会いの場を創っていくことが大切ではないかと思ひ直した。

(富山・磯野友一)



山崎さん

1

## 黄金色の風

作詞 山崎和敏

昔人はやってきた  
南の海峡乗り越えて  
大きな森を切り拓き  
荒野を耕した  
そしていつも変わらない  
風が時代を創り  
小さな命を育て 夢を膨らませた  
西から東へ 南から北へ  
喜びの歌が 流れ続けた  
守ろう黄金色の この大地  
僕らの暮らし 守るために  
吹き続けろ 黄金色のこの風よ  
子供たちの笑顔 守るために

2

いつか人は忘れていた  
大地のぬくもり優しさを  
失くした心を取り戻せ  
手遅れになる前に  
西から東へ 南から北へ  
僕たちの力 繋ぎ続けよう  
守ろう黄金色の この大地  
豊かな明日を 築くために  
吹き続けろ 黄金色のこの風よ  
子供たちの未来 救うために

# 歌の力が物語るもの 81

官邸前反原発行動 8/23 (360回) 報告:よじこ

【参加者】スーさん、加本、  
ヨコ、なべさん、よじこ  
計5名

今日は清美さんが足にケガをしたために来られない。寂しいな。でも東京電力が、福島第一原発事故に伴う損害賠償を、出し渋る事例が続いている事を新聞で読んでいたので、今日は頑張って歌って来なくてはいけないと思ってた。賠償を打ち切ったり出し渋ったりして、被災者をどこまで苦しめるのだらう。

さて今宵の茱萸坂である。日没もだいぶ早くなり、空は濃い

## 水道橋だより

▼首相官邸前の茱萸坂に、毎週金曜の夜、立ち続け歌い続けてきた人が逝ってしまいました。▼『あたりまえの地球』が大好きで、目の前を通過する人々に、「あたりまえの地球を守るために一緒にうたいましょう！」と笑顔でよびかけ、歌う仲間がどんどん増えました。最高のオルガナイザーが逝ってしまいました。▼田中淑子さんを偲び、9月6日(金)17時~18時半 首相官邸前の茱萸坂で『ヨッシーを偲ぶ歌の会』を開催します。(坂口美日)



(ヨッシーを偲んで)

▼いよいよ今月は音楽祭。3日には秋田県実行委員会が開かれ、6日には音楽祭会場の会館スタッフの方と打ち合わせを行います。▼舞台配置図や進行表などの最終チェックを行い、万全な体制で臨みたいと思います。思い通りにいかない面もあるかと思いますが、ご協力をお願いします。(佐藤)

ブルーになってた。茱萸坂を下って行く。反原発うたいたいの定位置には誰もいない。でも私の心の中には、自転車の傍らに立つヨッシーさんの姿が映る。今日(こ)にヨッシーさんがいたらどんなに心強いだろうと溜め息をつきながら、歌う準備をする。

『茱萸坂お迎えの歌』を何回か歌ってから官邸前の反原連のほうへ見学に行く。そして帰ってくる。スーさんが一人で『草たちよ』を歌っていた。うれしー仲間がいるーそれから、たんぼぼ舎のエリアで歌う曲を決めながら、何曲か歌い、

『草たちよ』『ろくでなし』『怒りの拳をあげよう』『原子力発電NO!』に決める。もう7時過ぎた。二人でたんぼぼ舎に向かう。たんぼぼ舎で歌い始めようとしていたら、なんと！加本さん登場！スーさんも私もいっぺんにハッピーになる。予定していた曲を歌い終わったが、せっかく加本さんが現れたのだから、あの歌を歌って貰わないわけにはいかない。勿論加本さんがヨッシーさんの追悼の為に作った『イエスタデイ・ワンスモア』の替え歌だ。加本さんの歌声に皆聞き入り、しみじみとヨッシーさんを偲んだ。久しぶりに登場していた山田さんも感銘を受けていた。その頃にはヨコさんも到着していた。そしてケーナを取り出し、山田&スーの歌う『イム

## どん行

(122) 飯島貞親

▼愛知県内で開幕した「表現の自由展・その後」と題した企画展が中止になった。慰安婦を表現した少女像や昭和天皇を含む肖像群が燃える映像作品などに対して、抗議や批判が殺到したためと報じられている。

▼「慰安婦は朝日新聞の捏造」「南京事件は中国のプロパガンダ」「関東大震災の『朝鮮人虐殺』は単なる正当防衛」と戦中日本の加害事実を否認する歴史修正主義勢力がはびこっている。この修正という言い方は困ったもので「ねつ造」にすべきなのに。▼「美しい国」「強い日本」が好きな安倍首相だが、過去の侵略の事実を認めたくない自国優生思想が根底にある。▼歴史修正主義との闘いの実話を映画化した「否定と肯定」は、ユダヤ系女性歴史学者が、「ホロコーストはなかった」と主張するイギリス人著述家から起こされた実際の裁判を中心に描いたもの。

▼「ヒトラーがホロコーストを直接指示した文書は一枚も見つかっていない」と威圧する場面は、日本の歴史修正主義者たちが「慰安婦問題で軍の強制性を示す書類は見つかっていない」と吠えるのに酷似している。

▼昨今の日本は、右翼的な思想の持ち主でなく普通の人が修正主義に偏っているようで、他国を蔑視するような言動は嫌な気分にはさせられる。